

県民に愛される ゆいレールを目指して

夢発進から1周年



去る8月10日、沖縄都市モノレールは開通1周年を迎えました。1年を振り返って那覇都市圏の新たな公共交通軸として期待される、ゆいレールの利用状況と今後の利用促進に向けた取り組みについて紹介します。

沖縄にとって、戦後初めての軌道系交通ゆいレール。

開業当初は、もの珍しさ等も手伝って車輦は混雑していましたが、現在は落ち着いて、一日平均約三万人が利用しています。那覇まつりや産業まつり等、大きなイベントがある日は、臨時列車の運行が必要なほどで、徐々に、県民の足となりつつあります。

ゆいレールは、観光客にも好評です。首里城公園の入園者数も開業以来の最高を記録するなど、着実に、ゆいレール整備効果は表れています。

ゆいレール最大の特徴は定時定速ですが、その他にも、高水準のバリアフリー整備が挙げられます。一日約三十人の車いす利用者が利用しており、他都市のモノレールと比較しても極めて高い利用率です。「四十年ぶりに一人で外出できました。」とのうれしい声もありました。

また、ゆいレールの整備により、沿線近く等では屋上緑化が進んでいます。ゆいレール開通当初に比べると、車内から見える緑も多くなりました。

このような、ゆいレール整備で進んでいる「モノレールの整備と併せた総合的なまちづくり」が評価され、五月二十一日には、日本都市計画学会で最高と証される「石川賞」を受賞しています。

一方、異常時等に備え、各種訓練も実施しています。安心して利用していただけるよう、安全管理体制の強化にも努めていきます。

- H15 8/10 県民の夢を乗せ「ゆいレール」発進 (61,805人/日)
- 9/1 ゆいレール通学始まる。定時定速性を評価
- 10/1 ゆいレール車両がグッドデザイン賞受賞
- 10/12 那覇まつりで、最多66,456人/日の乗客を記録
- 10/26 産業まつりで、ゆいレール効果もあり前年比7%増の23万人来場
- 11/9 那覇市が屋上緑化シンポジウムを開催、屋上緑化が市民に浸透
- 11/21 国際通りでトランジットマイル社会実験、ゆいレールへ連結を検証
- 12/12 ゆいレールイメージソング「おでかけ日和」CD発売
- H16 2/2 高速バスとの乗継促進に向けたマルチモーダル社会実験。79名参加
- 2/6 ゆいレール利用実態調査の中間発表 (OD・CS・駅アクセス調査等)
- 5/21 日本都市計画学会最高栄誉の「石川賞」受賞
- 5/31 ゆいレール異常時訓練、安全管理体制を強化
- 6/20 ゆいレール最少乗客 14,304人/日、台風時に運行
- 6/28 モノレール株主総会、17億7千万円の当期純損益を報告
- 7/1 フリー乗車券提示による観光施設等団体割引実施開始
- 7/7 七夕まつり(首里駅) ゆいレール乗客1千万人突破
- 7/12-28 那覇空港駅、赤嶺駅で日本最西端駅、日本最南端駅をお披露目
- 8/9 開業1周年記念シンポジウム開催
- 8/10 ゆいレール開業1周年、ゆいレール展示館の開館

行ってみよう！ ゆいレール展示館

ゆいレールのことなら何でもわかる！
そんな展示館がオープンしました！



昨年八月に開通したゆいレールは、戦後、鉄道のなかった本県で、長らく待ち望まれていた軌道系交通システムです。ゆいレールの誕生によって、鉄道に興味がある方も増えつつあるのではないのでしょうか？そこで誕生したのが、ゆいレール展示館です。

「ゆいレール建設の経緯等のほか、戦前に沖縄を走っていた鉄道などについて、パネルや写真で紹介します。また、各種記念切符の展示、鉄道マニアであるエッセイスト、ゆたかはじめさんの「コレクションコーナー」や、パソコンを使ってゆいレールを自分好みにデザインし、プリントアウトして持ち帰ることのできるペーパークラフトコーナーも設置されています。



2階にある紹介コーナー。沖縄にも、昔は鉄道がありました。



DVDの上映も行っています。ゆいレールはどうやって走っているのかな？



これがペーパークラフト。うまく作れるかな？



- ・開館時間 午前9時30分から午後4時30分まで
 - ・休館日 土日祝祭日、年末年始
 - ・入館料 無料
- ゆいレール展示館は、那覇空港から徒歩10分です。
お問い合わせ
沖縄都市モノレール株式会社
TEL.098-859-2630

モノレールの運転免許を取ってから約一年半経ちますが、運転には大分慣れました。今ではお客さんの動きを見て自分も動けるようになり、自分でも成長していると感じます。

運転は事故防止に特に気を付けています。物事は自分の見える範囲で見えないので、お客さまが急に駆け込んできて扉に挟んだりしないよう、注意して見えています。

自分自身は女性運転士だということを特に意識してないのですが、お客さまの方は運転手が女性だと喜びますね。子供たちが手を振られることもあるので、ちょっとしたヒーロー気分が味わえます。

昼間や雨が降った時は、お客様の利用が少なくなってしまう残念です。とにかく今は、もっともってお客さまに乗っていただきたいです。



多くの人に利用してほしい。
ゆいレール運転手 平良和美さん



H16.7/12
東経 127度 39分 8秒
北緯 26度 12分 23秒

「日本最西端の駅」モニュメント完成除幕式

日本最西端の駅である那覇空港駅で、平成十六年七月十二日、「日本最西端の駅」モニュメントの完成除幕式が行われました。

駅入口に設置され観光客を迎え入れるモニュメントは、沖縄の玄関である空港を象徴するとともに、明るい未来へはばたく希望をイメージして、飛行機の翼が象られています。さらに、中央部に「ゆいレールの車体」と地元鏡水の名産であった「鏡水大根」のプロンス像をはじめ込み、空港・モノレール・地域（鏡水）のゆるぎない連帯をも表しています。

なお、同モニュメントは、地元宇鏡水郷友会の協力により完成しました。



H16.7/28
東経 127度 39分 38秒
北緯 26度 11分 36秒

「日本最南端の駅」モニュメント完成除幕式

日本最南端の駅である赤嶺駅で、平成十六年七月二十八日、「日本最南端の駅」モニュメントの完成除幕式が行われました。

駅構内の交通広場に設置されたモニュメントは、県産勝連トラパーチンで造られており、高さは約三メートル、伸びゆくレールと未長い発展をイメージしています。

赤嶺駅・小禄駅周辺活性化健全協議会の協力により完成したモニュメント。新たな観光名所となることが期待されます。

おめでとう 乗客一千万人突破！



H16.7/7
県庁前駅で栄えある一千万人目に輝いたのは、那覇商業高校三年生の佐和田由加里さん。佐和田さんには、その場で記念撮影した写真を乗車カードにした「一千万人乗車記念ブリードカード」等がプレゼントされました。



昨年八月十日の開業以来三三三三日目にあたる七月七日、ゆいレールの乗客数が一千万人を突破しました。

県庁前駅で栄えある一千万人目に輝いたのは、那覇商業高校三年生の佐和田由加里さん。佐和田さんには、その場で記念撮影した写真を乗車カードにした「一千万人乗車記念ブリードカード」等がプレゼントされました。

佐和田さんは「通学に利用している。高い場所から見える景色は新鮮。これからも利用したい」と笑顔でコメントしてくれました。

沖映通り ゆいレール ～商店街の取り組み～



商店街の活性化

駅前広場の活用



「これまで国際通りへの通過点のような位置付けでしたが、多くの人たちが訪れるようになりました。若い人たちが出店したお店も出てきて、活気があると思います」
高良楽器店・高良博さん

美栄橋駅前の広場は、商店街のイベントでよく利用されている。ピース・ラブ・マチグラー＆重屋まつりでもコンサート会場となった
沖映通りで買い物をするにももらえるこの券は、1000円分集めると「ゆいカード()」と交換できる。商店街独自の取組みだ

ゆいカード...ゆいレールで使用できるプリペイド式の乗車券



沖映通り商店街
振興組合理事長
宮城 英雅さん

生活に根付いた通りに

ゆいレールが開通したことで、観光客も地元の人も多く訪れるようになりました。それにあわせて店舗を大きく改装したお店などもあり、全体として活気が出てきたように思います。
現在、ゆいカードと交換できるサービスタ券や、駅前広場を使った催しなどを行っており、誘客に努めています。歩行の邪魔になるような立て看板や路上駐車などの課題もあります。それらを踏まえ、今後さまざまなイベントを企画・実施していきます。お年寄りが散歩に来て、ちょっとした買い物をしていくような「生活に根付いた町」が目標ですね。

ゆいレールの利用状況

開業後三カ月となる昨年十一月、沖縄県都市整備・モノレール課で実施した、ゆいレールの実態調査の結果は次のとおりです。
モノレール利用前の交通手段は、バスが四九%と最も多く、自動車一七%、タクシー一六%となっていました。(図1)

利用目的では、通勤・通学が三八%、買物・娯楽等が一四%となっています。(図2)
駅までのアクセスは、徒歩が七〇%と非常に多く、次いで自動車が一%、バス七%となっています。(図3) 徒歩による平均移動距離は六百メートルです。
駅ごとの利用客数を開業前の需要予測と比較すると、赤嶺駅、旭橋駅、

県庁前駅、儀保駅で予測を下回っています。(図4) バス路線の再編が一部なされていないことが、大きく影響しています。
那覇市内を全体的にみると、交通量に大きな変化はありません。しかし、ゆいレール利用者が一日約三万人、かつ、調査結果では、自動車・タクシー・レンタカーを利用していった人の三十四パーセントがゆいレール

県民の足として定着するために

図-3 駅までのアクセス

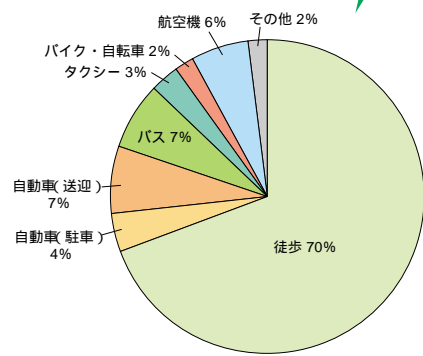


図-2 利用目的

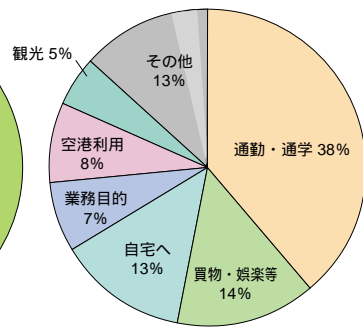


図-1 モノレール利用前の交通手段

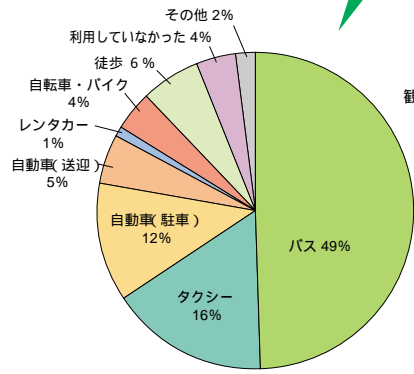
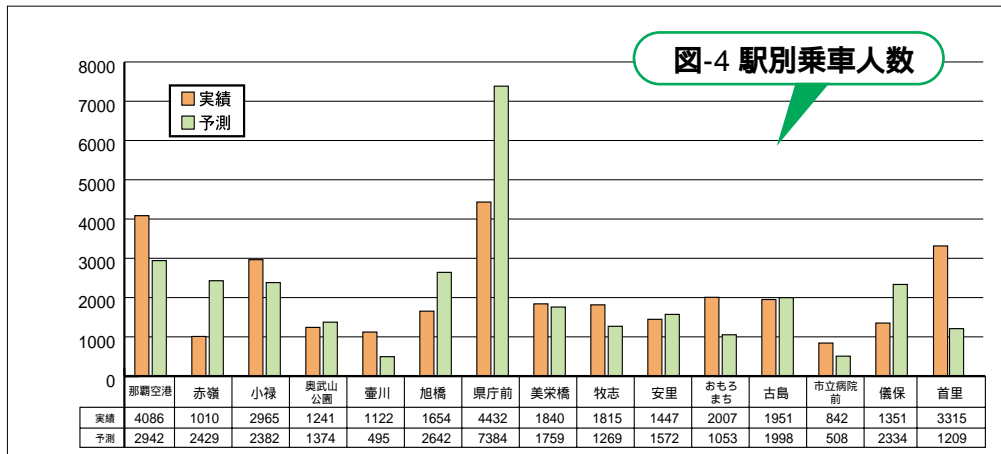


図-4 駅別乗車人数



空港や那覇市南部方面から中心市街地への交通量がモノレールへの転換により減少している一方、那覇新都心開発により古島インターチェンジ付近で交通量が増加していることによると推測されます。
モノレールの駅半径四百メートル内における一千平方メートル以上の建築確認申請件数は、平成十四年度以降増加し、二年で十一件となっています。沿線開発や経済動向にプラスの影響を与えています。
今後のゆいレール整備に対しては、「路線の延長」、「運行本数の増加」、「料金値下げ」、「バス等とのスムーズな乗り継ぎ」、「駐車場の増加」の順に要望が高くなっています。

今年度の重点的な利用促進策

駅を起点とする循環バスの運行やゆいレールとバスとのセット割引料金の実施を目指し、循環バス運行の有効性を確認するため、首里地域で来年二月上旬まで社会実験を行います。石嶺団地から首里駅、首里城などを周り沖縄都ホテル・ホテル日航グランドキャッスルで折り返すコースで、運賃は大人百円です。
自動車送迎率が高い古島駅にパークアンドライド専用駐車場を設置し、新たな利用促進を図ります。
南風原ジャスコ等の大型商業施設と駅とのシャトルバス運行を実施します。

愛されるゆいレールを目指して

ゆいレールは、交通混雑が著しい那覇都市圏における新たな公共交通軸として、商店街の活性化に資する公共交通機関として、さらには那覇市の優れた都市景観を一望できる楽しい乗り物として、今や県民や観光客にとって重要な役割を担っています。
同時に、中北部地域からの利便性の向上を目指した路線の延長要望や、バス路線の再編及び有機的な交通結節など、多くの課題もあります。官民一体となって、着実に効果的な施策を推進し、「ゆいレール」の名前にふさわしい、県民の皆様が愛される公共交通機関を目指して取り組む考えです。
今後とも、ゆいレールのご利用をよろしく願っています。